

特集

落合恵子氏インタビュー

「男と女、ともに輝く社会へ」

———— P. 2～5



アクト21 施設紹介 ——— P. 6～7

アクト21 事業等紹介 ——— P. 8

男と女、ともに輝く社会へ

「男女共同参画」。少し堅く感じる言葉だけれど、本当はとても素敵な意味を持っているのです。

男も女もイキイキと自分らしく生きていける社会。そんな社会を実現するために、日ごろから大切にされているそれぞれの生き方について、落合恵子さん(作家)と阿久津敬子さん(荒川区女性団体の会会長)にお話を伺ってきました。

「男女共同参画」この言葉を実感したときから

——落合さんにとって、男女共同参画とは、どのようなものですか。

落合 子どものときから、女の子はこうすべきとか、男の子はこうあらねばいけないとか、他



落合恵子さん

おちあけいこ ●作家・クレヨンハウス代表。1945年生まれ。「書く」だけではなく、書くことを実現していく、行動する自分自身でありたい、といったも考えている。最近の主な著書に『母に歌う子守唄』『母に歌う子守唄・その後』(ともに朝日新聞社)、『崖っぷちに立つあなたへ』(岩波書店)。春に『絵本処方箋』(仮題)が朝日新聞社から、『ジェンダー論』(仮題)が岩波書店から刊行予定。

者からそう決めつけられるのが窮屈でした。

たとえば上履きにリボンをつけるときに、女の子だったらピンクとか赤、男の子はブルー。「私はブルーが好きなのに、どうしてピンクじゃなきゃいけないの?」とか、そういったきわめて身近なところにも、疑問がありました。だから、私にとっては60年ぐらいのテーマで、それがようやく「男女共同参画」という言葉で国も動き出したか、と。

私の母は働いていたし、祖母も仕事を持っていましたから、女性を外に出て働くとか、仕事を持つのも当たり前のこととしてとらえていました。それは、ある意味ではとても幸せなことだ、「男女共同参画社会」といった外側から文化的ショックが突然入ってくるのではなく、私にとっては内側のテーマであったので、とてもスムーズでした。正直、「遅過ぎるぜ」という気持ちのほうが強いんだけれどね(笑)。

男女共同参画って、個々の人それぞれが自分の望む方向に、

いるのではないのでしょうか。

落合 ところが、社会に出たときに、決して男女共同ではない「壁」があって、そこでとても悩む子がいる。ガラスシーリングもあります。

私は女子大でジェンダー論の授業をもっているんだけど、「なぜあなたはノーと言わないの?」というテーマで、論文を書いてもらって、「1つの集団で浮いちゃう」とか、「あの人は変わっている」とか、嫌な反応があるために、だったらノーと言わずに、あいまいな微笑を浮かべていたほうが結局は楽なのよね、というところで納

でも、決して相手の足を踏まずに生きていくということですね。セクシュアリティを超えて、生き方そのものを問い直すテーマでもあると思うんですね。

阿久津 私の場合、男女共同参画というスタートがPTAなんです。公立中学校PTA連絡協議会に、区の代表として参加しましたが、当時は女性は一人居りでした。後に、各区の代表として女性が参加するようになりましたが、男女共生のよい関係・環境をつくるためには、参画すること、そしてみんなに広めることが大事なのかなと思います。

——阿久津さんが、現在の活動を始められたきっかけはどのようなことですか。

阿久津 戦後の混乱期に、親を失い、住む家も失い、路頭に迷っている子ども達に手を差しのべ、手のひらの温かさを感じさせてあげたいと立ち上がったのが母の会でした。私は、この母の会活動に入り、現在に至っています。

落合 特に下町は東京大空襲で

得してしまふ。

これは男の子でも同じ。「本当は裁縫がすごく好き」だとか、「ファッションの世界に行きたい」といっても、男子校で「僕はファッションを学びたい」と言った瞬間に、変わった子というレッテルがはられてしまうケースもある。こうしてある種、受け身になって、周りの顔色を見てしまふ。とても鋭い指摘の論文があるのですが。

——内には持っているということですね。

落合 それをもっと出してもいいんだと思うんです。ただ、私も悩みますね。「言う権利はあ

一人ひとりは違って当然

——今の時代の子どもたちは、たとえば、学校では男の子も家庭科を学び、女の子も技術が教

会」として歩み始めました。団体の活動を通して、自分らしく生きることを目的に学び、行動をしています。

ただ、活躍しているメンバーもだいぶ高齢化してまいりましたので、なるべく次の世代にバトンタッチしたくて、うずうずしているんです(笑)。元気なうちに譲りたいな、やってもらいたいなと思っています。

落合 地域社会が変わっていつて、新しい気持ちのいい風を吹かせるためには、「いろいろな必要がある」。その1つは「いろいろな世代」。これからの時代は「いろいろな人種」もそうですね。いろいろな人がそこにいて、同等の選択権と表現力を持つことがとても大切です。ぜひとも次の世代やその次の世代にも入っていただきたいですね。

科に入っている。そういうことを普通と思って育っているの、意識的にはだいぶ変わってきて



阿久津敬子さん

あくつけいこ ●荒川区女性団体の会会長。1935年栃木県宇都宮市生まれ。荒川区の男女共同参画社会へむけて活動の拠点「女性センター(現アクト21)」の建設を要望し、その設立に深く貢献してきた。他に尾久母の会会長、東京母の会連合会副理事長、荒川区都市計画審議会委員などを務める。

るんだよ」ということは授業を通して伝えるけれど、そこで気がついた子が社会に出て、自己主張をしたときに、壁にぶつかると。そう思うと、やっぱり社会を変えるほうが先となってしまうがちです。

同時に気づいたゆえの苦しさ

仕事も、介護も、子育ても

——ここ数年「男女共同参画」という言葉が社会にだんだん馴染んできて、変わってきたなと思われることはありますか。



午後のひととき、クレヨンハウスの事務所で美味しいクッキーとお茶をごちそうになりながら素敵なお話を伺いました。

共に参画できる社会へ

を味わう子を、どれだけ応援できる大人であるか。一人ひとり違って当然で、違いから学び合うことが人間関係の成熟だということをごとまで持ち得るか。それは子ども社会の問題ではなくて、大人社会の問題だと思いますね。

落合 言葉が馴染んでいるというより、実態のほうが早い。今、パートタイマーも含めると、女性たちは仕事を持ってる方が多いですよ、現実には。また、経済状況から働かざるを得ないケースが目前にあります。従って、頭で理解したり言葉で受け入れる前に、実生活がそうなっている。言葉はむしろ後からついてきている。

たとえばクレヨンハウスは子どもの本の専門店からスタートして34年経っているんですが、最初はお父さんももっと子育てにかかわってくださいということとを、メッセージとして申し上げていたけれど、途中から、も

う現実にならなっていた。

——クレヨンハウスにお子さんを連れていらっしゃるお父さんは増えていきますか。

落合 増えていきます。34年前は、土・日や休日は見事にお母さんと子どもばかりでしたが、お父さんは家で寝ていたの（笑）。今は4割ぐらいはお父さんですよ。お父さんが本を読んであげていたりします。やっぱり実体

が先に行っているんだと思いますね。

——そういう意味では、最近、ワークライフバランスという言葉も聞かれますが、落合さんは、お仕事と家事、お母様の介護をなさっていましたが、どんな工夫をされていましたか。

落合 いや、工夫なんてできなかった。介護が始まり、走り続けて7年です。目の前のことに対応することほとんどすべてが過ぎていました。あるとすれば1つだけ、「仕事はやめない」と決めていたことです。「母のためにこの仕事をあきらめました」というのは私も嫌だし、母も望まないだろう。だからかも

しませんが、燃え尽きることなく、なんとかやってこれました。肉体的には本当に大変だったけれど、仕事で嫌でも外に出る時間があると、人のスイッチは自動的に切りかわるんですね。それで私はバランスがとれていたのかもしれない。

母はパーキンソン病と認知症で、いろんなことを忘れてしまっていたのですが、嫌なことがあれば眉間にしわが入る。風に揺れる大好きな花を見れば微笑んでくれる。私はそんな母の表情を見るのがとても嬉しかったし、どんな状態でもやはりその人自身は、その人というまるとの存在なんだということをこの介護から教えてもらいました。

また、介護はまだ女性が背負う分がとて大きいので、男性もできるだけ実践家としてもっと中に入っていたきたいなと思います。そのためには、誰もが子育てや介護に参画できる社会のシステムも必要なのです。

今の時代は、男性がこうあらねばいけないと思っていた既存の男性像を失いかけている。あ

る意味ではチャンスです。男だって仕事だけでは生きていけない。しんどいときがある、弱くなるときもある。こういったことを、社会状況が変わったことによって知らされる。だったら、もっと全人的な生き方をしよう、と気づくことが大切でしょう。寄らば大樹の陰のような人生はもう成立しないんだってことを。

男も女も自分色に輝いて生きる

落合 丸い地球を真っ二つに切って、今までは、女性も男性も半分しか体験してこなかった。男性は従来どおりのオトコ体験、というように。でも、真っ二つに切ってしまった地球を丸い形に戻したときに、今まで女性が味わってきたある種の充実も彼は味わうことができるし、女性もまた、もう片方の側の、未知であった半分の、違う景色を味わうこともできる。だから、どっちが得する、どっちが損する、どっちがたくさん持つ、どっちが少なくしか持てないではなくて、どっちも手にするものが増える

パートナーたる女性も、「お父さん、頑張ってる働いてきてよ。私は家庭を守ります」だけではやっていけない。これまた外側が変わることで学ばざるを得ないテーマでもあります。

どんな状況にあっても、自分のアンテナを磨けば、学ぶべきものがたくさん隠れていると言えますね。



私は、男女共同参画という言葉葉そのものも少々堅すぎだと思う。簡単に言うと、それぞれが自分色に輝いて生きていくということですよ。黄色がいて、緑がいて、それぞれがその自分色を大事にしながら、ブルーという色もつくっていく。共同し、まじり合っていったら、もっとゆるやかで平らかな社会ができるんじゃないでしょうか。

阿久津 落合さんのお話を聞いて、大変勇気づけられました。今後の励みにしたいと思います。

column



本という処方箋

文 落合恵子

子どもの本の専門店クレヨンハウスや女性の本の専門店ミズ・クレヨンハウスを始めて34年になるわたしにとって、本は日常中の日常でありながら一方、日常から非日常への旅に誘ってくれるものでもある。

男女共同参画、という少々堅苦しい言葉とテーマを前にしても、これらの本たちはそれぞれ、わたしの心をさっくりと気持ちよく耕し、深呼吸の時空を贈ってくれる本たちでもある。たとえば、メイ・サートンの『独り居の日記』をはじめ読んでのは20年以上も前のこと。「私から年齢を奪わないでください。この年齢は私が働いて手にしたものです」の凛々しいフレーズに魅了された。その他の本たちも、疲れた（この時代、この社会で疲れないひとなどいる？）時の、「副作用なし」の個人的疲労回復剤、であったりする。

孤独が「痛い」とき



『独り居の日記』
メイ・サートン 著
武田尚子 訳
みすず書房

共に生きることに「迷った」とき



絵本
『あおくと
きいろちゃん』
レオ・レオーニ 作
藤田圭雄 訳
至光社

心が「ささくれだった」と思えるとき



『石垣りん詩集』
石垣りん 著
思潮社

『スティーヴィー・スミス詩集』

スティーヴィー・スミス 著
郷司真佐代 編訳
土曜美術社出版販売



アクト21に行ってみよう!



アクト21は、男女共同参画社会を促進するためのスペースです。「男女共同参画について勉強したい」「仲間をつくって何かにチャレンジしたい」など、そんな皆さまに利用していただく施設です。

アクト21は、荒川区立男女平等推進センターの愛称で、「男女平等社会の実現を目指して行動しよう」との願いが込められています。平成8年7月にオープンし、2階には荒川区立熊野前ひろば館が併設されています。アクト21が、出会い・交流の場として、今後も、より多くの区民の皆さまに活用していただけることを期待しています。



荒川区長
西川 太一郎

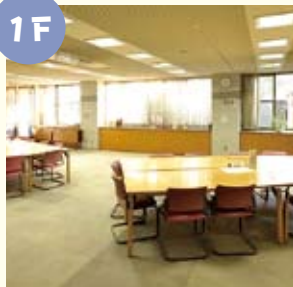
どんな施設なの?

熊野前駅から徒歩歩いて3分のところにある地上3階、地下2階のレンガタイル張りの建物が「アクト21」。駅から近いので仲間と集まったりするのはとっても便利。

お友だちとのサークル活動ではホールを借りてフラダンスをしているの。お休みの日には交流活動コーナーで図書コーナーの本を読んだりもしているわ。皆さんもどうぞ一度行ってみて。

誰でも利用できる無料スペースもあるのよ!

1階にある交流活動コーナーと図書・情報コーナーは、誰でも無料でご利用いただけます。



交流活動コーナーは図書を読んだり、勉強したり、自由にお使いいただけます。

女性問題や男女平等推進に関連する情報を提供する図書・情報コーナーもあります。

こころと生き方・DVなんでも相談

女性をとりまく様々な問題にかかわる相談を受け付けています。専門の女性相談員が悩みのお手伝いをします。ので、どうぞご相談ください。相談は無料です。秘密は厳守いたします。



相談室では専門家が女性の自立を支援します

どんなことをしているの?

僕は男性の料理教室に参加したよ。→詳しくはP.8へ

申込方法
アクト21へ、お電話ください。
☎03-3809-2890

相談日時（予約制）
第1水曜日…午後5時～8時
第1金曜日…午前10時～午後4時
第2～5水曜日…午前10時～午後4時
第2～3金曜日…午後2時30分～8時
第4・5金曜日…午前10時～午後4時

どんなことに使えるの?

会議や研修、ダンスや講演会など、さまざまな活動にご利用いただけます。個人でも、グループでも利用可能です。※申込方法・料金等は左のページをご覧ください。



150人収容可能なホールは昇降式ステージを採用。ステージを床に収納できるので講演会、音楽会、発表会などに最適。



創作室は染色やフラワーアレンジメントなど、グループ・団体での創作活動に。

第1会議室は30席、第2会議室は12席、第3会議室は和室の12畳。グループの研修会や講演会などに。

利用受付日・時間・場所	施設	対象	受付開始日	受付時間	受付場所
	ホール	男女平等推進登録団体	利用日の12カ月前の月の同一日	9:00 ～ 20:00	事務室（1階）
		その他	利用日の11カ月前の月の同一日		
	会議室・創作室	男女平等推進登録団体	利用日の2カ月前の月の同一日		
		その他	利用日の1カ月前の月の同一日		

※男女平等推進登録団体

女性の社会的地位の向上と社会参加を促進し、男女平等推進社会の実現を図ることを主な活動目的とする団体で、次の要件を満たすもの。

- 団体の代表が区民であり、会員の過半数が区内在住・在勤・在学者で、その人数が5人以上であること。（構成員は男女を問わない）
- 活動目的にかなった団体規約、活動計画をもち、自主的に運営している団体であること。
- 政治、宗教、営利活動を行っていないこと。

★登録はアクト21で随時受け付けます。

料金表	区分	午前 9:00～12:30	午後 13:30～17:00	夜間 18:00～22:00	全日 9:00～22:00
	施設				
	ホール	6,400円	6,400円	7,300円	20,100円
	第1会議室	2,400円	2,400円	2,700円	7,500円
	第2会議室	900円	900円	1,100円	2,900円
	第3会議室（和室）	1,300円	1,300円	1,500円	4,100円
	創作室	1,900円	1,900円	2,100円	5,900円

※平日、土・日曜日、祝日も同額。

※男女平等推進登録団体は半額となります。

※付帯設備は、別料金がかかります。

申し込み方法は？ 料金は？

いろいろな講座を用意して 区民の交流をお手伝いします

アクト21では、男女共同参画について考え、取り組むことをテーマに、毎年6月に講演会を開催しています。また、女性の再就職を支援する講座や、自分自身をよりの確に表現できるよう、女性をエンパワメントする講座も実施しています。

こうした事業に加えて、男性や家族等が気軽に参加できる料理教室等も開催しています。ぜひ、ご参加ください。



平成21年12月5日開催 福井手打ちそば教室

講師 運営(協力): 福井県農林水産部、福井そばルネサンス推進実行委員会
※福井県は荒川区の交流都市です



伊東さんご夫婦

区報を見て参加しました。家でそば打ちした時は、そばが切れてしまったので、ちよっと上手にならず…。最初に我慢強く混ぜたり、練ることが大事だとわかりました。食べるのが楽しみです。

うどんは家で何回か作ったことがあるんですけど、そばは今回が初めてです。そばは今回が初めてです。夫がそば打ちに興味があったので、区報を見て参加しました。家ではあまり家事は手伝っていませんねえ(笑)。

楽しかったー。



大塚さんご一家

やらせてもらえたら、たぶんできると思うんですけどね…(笑)。

あと片付けも手際よくやってくれないとねえ(笑)。

平成21年度は、 ほかにこんな講座も開催しました

男女共同参画週間記念講演会 「谷川真理流 健康ライフ」

平成21年6月20日

女性アスリート本人の体験に基づく講演と、参加者が自らのライフスタイルと生涯にわたる心と身体の健康を考えて、エンパワメントにつなげる内容でした。

女性のための護身術！ ——ココロ&カラダを自分で守る！——

平成21年12月16日/
平成22年1月13日/20日/27日

自分自身の心と体を信じて行動することができるよう、護身術とアサーティブを体験。

男性の料理教室

平成21年11月28日

家事参加に意欲的な男性の方たちが本格的なビーフストロガノフとサラダを簡単に身近な材料で作りました。

男も女も ……それぞれの更年期

平成22年1月16日

各年代・男女での更年期の悩み、今からできるココロの準備について考え、更年期を楽しく生きるヒントを学びました。



再就職支援講座 「めざせ再就職！——“これからの私”のためのライフプランニング——」

平成21年10月1日/8日/15日

資格の取り方、適職の選び方や求人を見つけ方、書類の書き方や面接のノウハウを伝授。



パパと一緒にクッキング

平成21年8月8日

子供たちに大好評のハンバーグのセカレーチャーハンとフルーツヨーグルトをパパとお子さんが一緒に作りました。



子育てフェスタ 「ママのリラックス講座」

平成21年11月22日

アロマとバスソルトを使用したストレッチで、日頃の疲れをリフレッシュ。

2・3月の募集講座は
日程が決まり次第
区報にてご案内します。
詳しくは区報を
ご覧ください。

アクト21

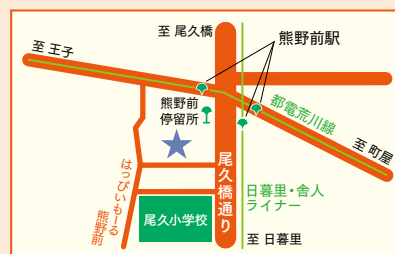
〒116-0012

東京都荒川区東尾久5-9-3

☎03-3809-2890 FAX03-3809-2891

●開館時間/9:00 ~ 22:00

●休館日/12月29日~1月3日および保守点検日など



●都電荒川線
日暮里・舎人ライナー
「熊野前」駅より徒歩約3分
●都バス
「熊野前」より徒歩約1分